



(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	2,515	表彰物品購入費（個人表彰分）、賞状購入費
印刷製本費	67	賞状印刷
役務金	249	賞状筆耕費
合計	2,831	

**決定額の考え方**

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
消防職団員をはじめ、団員を支えている家族や、団の活動を支援する事業所などを表彰し、その労に報いるとともに、地域防災に対する更なる士気の高揚につなげる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
消防団員の条例定数に対する充足率	99.9% (S44)	93.8% (H30)	92.9% (H31)	91.0% (R2) ※速報値	93.4% (R3)	97.4%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
令和2年度「消防感謝祭」岐阜県消防定例表彰式を開催
  - ・日時 令和2年11月7日（土）
  - ・場所 各務原市文化ホール（各務原市）
  - ・表彰者 53団体 3,284名（うち県 42団体 1,451人）
  - ・参加人員 約200人

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
災害等で活躍した消防団や、長年消防業務に従事した消防職団員、消防団員を支える家族、団の活動を支援する事業所など、県内の様々な消防関係者を表彰し、その労に報い、士気の高揚につなげることができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	東日本大震災以降、消防の重要性に対する認識が高まっており、団員の士気高揚につながる表彰は、必要性が非常に高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	消防団員の活動はボランティア精神により成り立つことから、団員がやりがいを持つためには、その努力が感謝され、賞賛されることが重要であり、表彰は団員の士気高揚につながる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	開催に要する費用の低減に努めるなど、事業の効率化を図っている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 表彰枠が限られているため、要件を満たしながらも受賞できない団員が増加している。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 限られた表彰枠の中でより多くの団員に表彰が行き渡るように、市町村の要望を踏まえつつ表彰の統廃合などを行う。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	